

2022年6月15日

これまで全国の循環器疾患実態調査に参加した医療機関に
入院されたことのある患者さま・ご家族さまへ

国立循環器病研究センターでは、日本循環器学会が実施する循環器診療実態調査を用いて、「我が国の心血管疾患入院における診療実態と予後、医療費の推移に関する研究」を行っています。

【対象となる方】2012年4月1日～2021年3月31日の間に、日本循環器学会が実施する全国の循環器疾患実態調査に参加した医療機関より登録された方のうち、冠動脈疾患・心不全・大動脈疾患などの心血管疾患で入院された方

【研究課題名】

我が国の心血管疾患入院における診療実態と予後、医療費の推移に関する研究

【研究責任者】

国立循環器病研究センター オープンイノベーションセンター
情報利用促進部 上級研究員 金岡 幸嗣朗

【研究の意義・目的】

近年、我が国の循環器疾患患者は高齢化してきています。一方で、近年の治療法の変化などに伴う入院診療の実態・院内死亡割合や入院医療費の実態に関する大規模な報告はありません。本研究の目的は、近年の心血管疾患入院患者の患者背景、予後、医療費について明らかにすることです。

【利用する診療情報】

参加施設から日本循環器学会循環器疾患実態調査へ提供された以下の情報

年齢、性別、身長、体重、転帰、併存疾患指数、日常生活動作、各疾患の重症度指標、入院日、入院費用、および入院と外来の診療報酬請求情報に記載された傷病名、医療行為、薬剤情報。

【研究期間】研究許可日より2025年3月31日まで（予定）

【情報の管理責任者】：国立循環器病研究センター 理事長 大津 欣也

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては本研究では取り扱いません。
また、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

【この研究の結果について】

研究結果は、個人が特定されない形で学会及び論文にて発表を行います。成果発表時には研究承認番号を記載します。

【問合せ先】

国立循環器病研究センター オープンイノベーションセンター 情報利用促進部

上級研究員 金岡 幸嗣朗

電話 06-6170-1070(代表) (内線 40257)